

平成16年9月29日

## 札幌市大通公園で作製された「ポット苗」を定山溪国有林に植栽



シラカバが立ち枯れし、ササが繁茂していました



植栽準備のため、ササを除去した状況（植栽前）

「ポット苗木」は、今後、自然力を満度に活用しながら、「水源の森」となるよう大事に育てていきたいと思ひます。

9月18日(土)札幌市大通公園西8丁目会場に市内外から300人余りの方が訪れ、「ポット苗木」を作っていただきました。

皆さんに作っていただいた、シラカバ・ハルニレ・ヤチダモの3種類の「ポット苗木」は、9月29日(水)定山溪国有林内2403は林小班(さっぽろ湖の上流部、ヘルヴェチアヒュッテ付近)において、北海道森林管理局、石狩地域森林環境保全ふれあいセンター、札幌市、北ぐにの森づくりサークルにより植栽しました。

植栽は、ササを取り除いた箇所に、同じ樹種の「ポット苗木」3個を1セットとして行いました。

植栽した「ポット苗木



ポット苗3個を1セットで植栽



植栽の状況



植栽を終えた状況



「大きくなあれ」の願いを込めて